

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	任意の街づくり協定	横浜中華街地区	令和6年度 (同7年度まで継続)	2006年10月1日施行の「横浜中華街街づくり協定」は、2010年6月10日第1回に改定されている。中華料理店の内容も大きく変化しつつあるのを受けて、今後の街の将来展望を受けて、従来の協定内容を「面のまちづくりと線のまちづくり」の側面から見直し、検討するため、横浜中華街「街づくり」団体連合協議会・街づくり協定改定検討委員会等でのアドバイス、支援を行っている。
	地区計画	瀬谷区ひなた山地区	平成6～9年度	地域発意で地区計画を導入した後に派遣され、地区計画を運用したまちづくり活動の進め方や体制づくり等を支援。 ・具体的に運用するための基準づくり補助 ・緑化や道路広場化、空き教室の利活用への助言 ・西部方面における団体交流会の開催支援 ・まちづくり推進委員会の体制確立への助言 平成6年8月 ひなた山地区地区計画決定
	地域まちづくりプラン	米軍根岸住宅地区	平成24年度～ 令和7年3月	米軍根岸住宅地区返還・まちづくり協議会と横浜市による跡地利用計画の検討、市施行の区画整理事業の実施に向けたアドバイス、支援。 ・返還跡地利用指針（平成18年6月）の位置付け ・ねぎまち協議会によるまちづくり基本計画（協議会案）の策定支援（平成29年5月策定） ・横浜市による根岸住宅地区跡地利用基本計画の策定支援（令和3年3月策定）
	地域まちづくりルール	磯子区洋光台（6丁目）地区	平成19～26年度	洋光台まちづくり協議会の住環境整備部会、洋光台6丁目南自治会を中心に、宅地分割等を規制するためのルール等を検討。 ・まち歩きやワークショップの進め方や敷地分割状況等の分析、街並み景観のシュミレーション ・意向確認調査、ルールづくり等の助言、支援 ・地域まちづくりルールとして認定及び運営委員会の組織認定（平成26年11月）
	地域まちづくりルール及びプラン	青葉区恩田町堀之内地区	平成29～令和年度6年度	市街化区域編入案に反対に端を発して、市街化調整区域のまま低密な田園居住環境を維持増進するために、将来像の設定、2回の意向調査、地域まちづくりルールやプランの検討を行うとともに、農地・緑地等を活かした土地利用を実現する取組を実践した。平成29年度～令和3年度はコーディネーター派遣、令和4～6年度は委託調査で取り組んだが、最終的に担い手不足から断念。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

<p>防災まちづくりプラン及び事業</p>	<p>西区東久保地区</p>	<p>平成 15 年度～ 令和 2 年度</p>	<p>勉強会から始まり、夢まちづくり協議会の設立、防災まちづくり計画の策定を経て、部会制による事業実施。当初計画の見直しの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会、グループでの計画づくり、整備事業や防災イベント等の実施についてアドバイス ・平成 20 年度当初計画の実績の検証支援、意向調査や見直し検討会への助言 ・新防災まちづくり計画の認定（令和 2 年 12 月）
<p>まち普請事業</p>	<p>都筑区中川駅前地区</p>	<p>平成 24～25 年度</p>	<p>中川駅前中央遊歩道を、人が集まりつながりが広がる花と緑のまちづくりをはかるルネッサンスプロジェクトの提案と事業実施を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人ぐるっと緑道を中心に、駅前商店街の遊歩道の再整備をはかる具体策へのアドバイス ・商店街、コミュニティカフェ等のボランティアの拡大、協働等への助言 ・花壇、ベンチ、ステージ等完成（平成 26 年 3 月）
<p>まち普請事業</p>	<p>港南区いちょう坂商店街カフェ</p>	<p>令和 6 年 10 月～ 同 7 年 2 月</p>	<p>上永谷駅前から始まるいちょう坂商店街を運営する商店街組合と丸山台自治会が協働で提案した商店街カフェのまち普請事業二次コンテストを通過をめざして、コンセプトや計画内容、合意形成のあり方、提案書類の書き方などのアドバイスした（結果としては選外）</p>

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500 文字以内）

- ① いろいろな方の話に真摯に耳を傾ける（聞き上手、特定の方に偏らない）
- ② 寄り添いながら共に考え、支える姿勢を貫く（虫の目、鳥の目の両面から適切な時期・方法で助言）
- ③ できるだけ多くの参加者が発言しやすいように、対話型で水を向ける習慣を身に付ける
- ④ 必要に応じてワークショップ（付箋紙や模造紙を使ったグループ討議）やワールドカフェ、大きなマップを広げた話し合い（ガリバーマップ）などを工夫する
- ⑤ 地域の中で記録係を決めるなどで、積み上げ型の話し合いとその結果の記録の習慣化を働きかける

必要に応じて資料を A4 判 1 ページまで添付できます。